

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2027年6月9日まで（2017年7月31日設定）	
運用方針	ワールド・ビューティー・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国のビューティー・ビジネス関連企業の株式に投資を行います。なお、ビューティー・ビジネス関連企業とは、委託会社の視点において、人の美しさの向上に寄与する事業などを行い、今後の美容関連市場における成長の恩恵を享受すると考えられる企業をいいます。株式への投資にあたっては、企業収益の成長性、財務の健全性、株価水準等を考慮して、銘柄選定を行います。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要運用対象	ベ ビー ファンド	ワールド・ビューティー・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	日本を含む世界各国の株式を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベ ビー ファンド	株式への実質投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	株式への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。 原則として、決算日の基準価額水準が当初元本額10,000円（10,000口当たり）を超えている場合には、当該超えている部分について、分配対象額の範囲内で、全額分配を行います。（資金動向や市況動向等により変更する場合があります。）	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。  
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。  
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

## 運用報告書（全体版）

# ワールド・ビューティー・オープン（為替ヘッジなし）

第4期（決算日：2019年6月10日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
 さて、お手持ちの「ワールド・ビューティー・オープン（為替ヘッジなし）」は、去る6月10日に第4期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。  
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



## 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用  
 フリーダイヤル

**0120-151034**

（受付時間：営業日の9:00～17:00、  
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

## ファンドマネージャーのコメント

当期の運用で主眼を置いたポイントをご説明させていただきます。

### ■投資環境

高価格帯商品を中心に化粧品需要の底堅さが確認され、投資家のビューティー・ビジネス関連銘柄への再評価が進みました。

期首から2018年12月末にかけては、世界景気の先行き不透明感が高まる中、基準価額は下落しました。特に、中国の化粧品大口顧客である並行輸入業者に対する規制強化が、投資家のビューティー・ビジネス関連銘柄への見方を厳しくさせたことが要因となりました。しかし、ビューティー・ビジネス関連各社の2018年10-12月期の決算において、景気先行き不透明感が高まる中でも、高価格帯を中心に化粧品需要の底堅さが確認されたことが好感され、当ファンドの基準価額は2019年1月以降、上昇基調で推移しました。

日本との金利差縮小などを背景に、米ドルやユーロ、英ポンドなどの主要通貨は円に対して下落しました。

### ■運用のポイント

消費者の品質や機能性を重視した商品選別がより厳しくなっていることをふまえ、銘柄を絞込みました。新興国を中心に所得水準が上昇し、消費者の品質や機能性に対する需要が高まっていることから、高価格帯化粧品などでブランド力を持つ銘柄を選別し、絞込みを行いました。具体的には、「RECKITT BENCKISER GROUP PLC」や「JOHNSON & JOHNSON」を全売却し、「PROCTER & GAMBLE CO/THE」の組入比率の引き上げなどを行いました。

### ■運用環境見通しおよび今後の運用方針

ビューティー関連市場は、歴史的に景気の好不調に左右されにくく、化粧品を中心に先進国の経済成長を上回る成長が見込まれる市場です。当ファンドでは、高価格帯、アンチエイジング、オーガニック化粧品、新たな販売チャネル、の4点に着目した運用を行っています。今後も、これらのテーマを軸に、ブランド力や企業収益の成長性、財務の健全性、株価水準などを考慮して銘柄を選定します。



株式運用部  
ファンドマネージャー

安井 陽一郎 村山 信明 加藤 明 長田 直樹 小島 直人 飯田 太郎

**本資料の表記にあたって**

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

**○設定以来の運用実績**

決算期	基準 (分配落)	基準価額			株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 分 配	込 金 騰 落	中 率			
(設定日)	円	円		%	%	%	百万円
2017年7月31日	10,000	—	—	—	—	—	10
1期(2017年12月11日)	10,001	1,147	11.5	88.6	—	—	634
2期(2018年6月11日)	10,001	582	5.8	93.9	—	—	6,839
3期(2018年12月10日)	8,956	0	△10.4	95.3	—	—	23,483
4期(2019年6月10日)	10,000	228	14.2	97.4	—	—	25,326

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

**○当期中の基準価額と市況等の推移**

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	式 率
		騰 落	率			
(期首)	円		%	%	%	%
2018年12月10日	8,956	—	—	95.3	—	—
12月末	8,671	△	3.2	96.5	—	—
2019年1月末	8,767	△	2.1	96.6	—	—
2月末	9,337		4.3	97.6	—	—
3月末	9,961		11.2	96.9	—	—
4月末	10,326		15.3	97.6	—	—
5月末	9,871		10.2	96.5	—	—
(期末)						
2019年6月10日	10,228		14.2	97.4	—	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

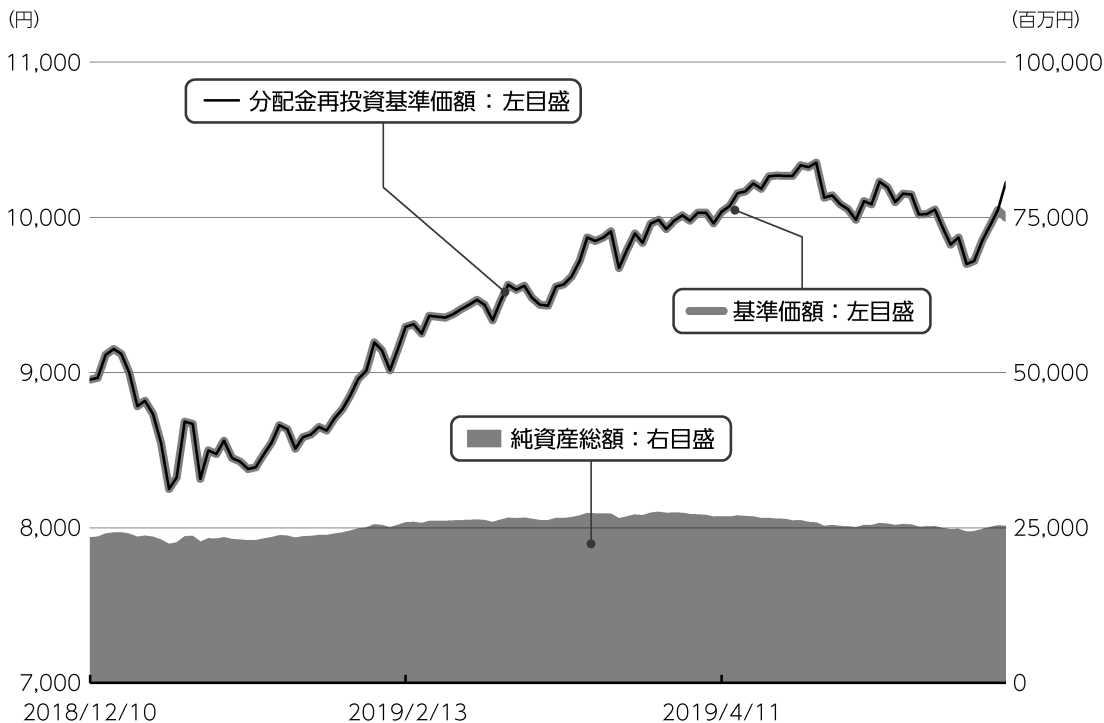
(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

# 運用経過

第4期：2018年12月11日～2019年6月10日

## ▶ 当期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第4期首	8,956円
第4期末	10,000円
既払分配金	228円
騰落率	14.2%
	(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

### 基準価額の動き

基準価額は期首に比べ14.2%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

## ▶ 基準価額の主な変動要因

### 上昇要因

世界主要国の株式市況が上昇したことや組入銘柄（ESTEE LAUDER COMPANIES-CL A、PLANET FITNESS INC - CL A など）の値上がりなどを背景に基準価額は上昇しました。

第4期：2018年12月11日～2019年6月10日

## 投資環境について

### ▶ 株式市況

**世界の株式市況は上昇しました。**

米中通商摩擦の激化への不安感が台頭したものの、中国における景気刺激策への期待感や、米国やユーロ圏の中央銀行が相次いで2019年内の政策金利の引き上げを見送る姿勢を示し、世界的に長期国債の利回りが低下したことなどが株価の押し上げ要因となりました。

### ▶ 為替市況

**主要通貨は円に対して下落しました。**

日本との金利差縮小などを背景に、米ドルやユーロ、英ポンドなどの主要通貨は円に対して下落しました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

### ▶ ワールド・ビューティー・オープン（為替ヘッジなし）

ワールド・ビューティー・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国のビューティー・ビジネス関連企業の株式に投資を行いました。

### ▶ ワールド・ビューティー・マザーファンド

取材を通じて、日本を含む世界各国の企業の中から美容関連市場の恩恵を最大限享受すると考えられる企業を選別しました。

当ファンドでは、「高価格帯」、「アンチエイジング」、「オーガニック化粧品」、「新たな販売チャネル」の4点に着目した運用を行いました。

通貨別では、米ドルやユーロの比率が上昇し、円の比率が低下しました。

組入銘柄数については、ブランド力や株価水準、成長性を勘案して投資対象の絞り込みを行い、期首の41銘柄から減少し期末は31銘柄としました。

主な銘柄入替は以下の通りです。

[RECKITT BENCKISER GROUP PLC] や [JOHNSON & JOHNSON] などを全売却し、  
[CALAVO GROWERS INC] や [INTER PARFUMS INC] などを新規に組み入れました。

## ▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

## ▶ 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、決定します。原則として、決算日の基準価額水準が当初元本額10,000円（10,000口当たり）を超えている場合には、当該超えている部分について、分配対象額の範囲内で、全額分配を行います。（資金動向や市況動向等により変更する場合があります。）この結果、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

## 分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第4期 2018年12月11日～2019年6月10日
当期分配金（対基準価額比率）	<b>228</b> (2.229%)
当期の収益	228
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	333

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

### ▶ ワールド・ビューティー・オープン（為替ヘッジなし）

マザーファンド受益証券を高位に組み入れる方針です。

### ▶ ワールド・ビューティー・マザーファンド

足元では、世界景気の減速から日常的には購入しない自動車や電化製品を中心に需要の減退が確認されていますが、化粧品に関しては力強い状況が続いています。また、消費者は、ブランド力や素材に加えて、しわ改善や美白など機能性を重視しており、当ファンドが積極的に投資を行っている日本や欧米の大手化粧品企業への恩恵は大きいと判断しています。米中間の通商問題が懸念されますが、高級化粧品を中心に生産における中国依存度は低く、相対的に影響は限定的であると考えられます。

日本の化粧品メーカーについては、中国における並行輸入業者に対する規制や景気減速によりインバウンド需要の低下が懸念され、2019年1月末にかけて株価が軟調となる局面がありました。しかし、その後は、訪日観光客数の増加トレンドや主要百貨店の免税消耗品（大半が化粧品）が前年を上回って推移したことから化粧品需要の継続的な拡大への安心感が広がり上昇基調となりました。2019年1－3月期の各企業決算においても一部企業を除いてインバウンド需要の底堅さが確認されており、今後の更なる業績拡大が期待されます。

当ファンドのポートフォリオ構築にあたっては、ビューティー・ビジネス関連企業が主に販売を行っている「地域」や、商品の「価格」、製品ブランド等の戦略を重点的に調査の上、美容関連市場の成長の恩恵を享受できると考えられる銘柄を中心に投資を行っています。今後も、企業収益の成長性、財務の健全性、株価水準等を考慮して、美容関連市場の成長の恩恵を受けると判断した銘柄を選定します。



2018年12月11日～2019年6月10日

## 1 万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	83	0.880	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
( 投 信 会 社 )	(41)	(0.429)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
( 販 売 会 社 )	(41)	(0.429)	交付運用報告書等各种書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	(2)	(0.021)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	6	0.058	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
( 株 式 )	(6)	(0.058)	
(c) 有価証券取引税	1	0.011	(c) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
( 株 式 )	(1)	(0.011)	
(d) その他費用	1	0.010	(d) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	(1)	(0.005)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
( 監 査 費 用 )	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
( そ の 他 )	(0)	(0.003)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	91	0.959	

期中の平均基準価額は、9,474円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してありません。

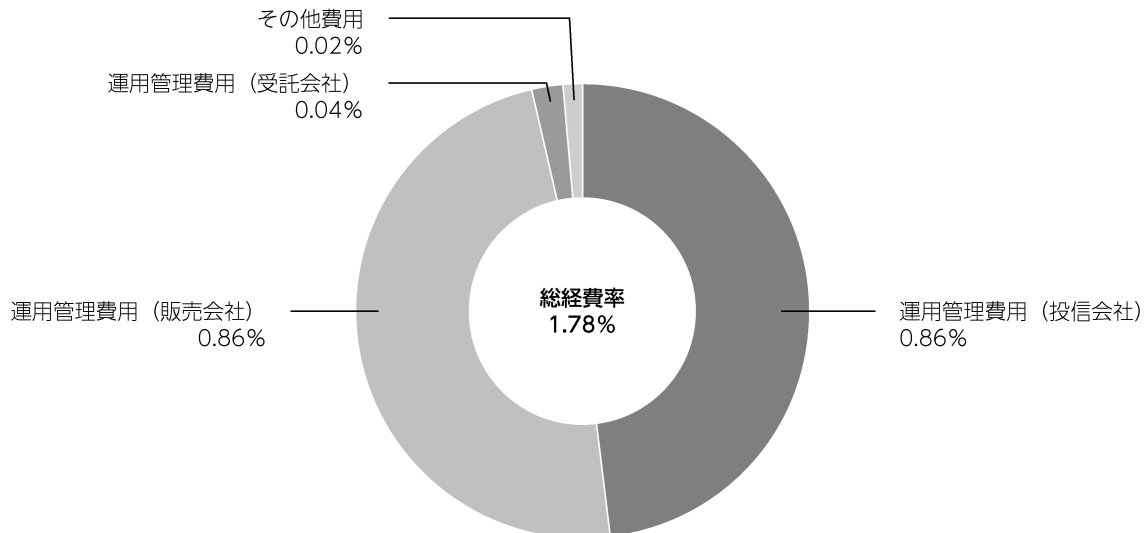
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## （参考情報）

### ■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.78%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2018年12月11日～2019年6月10日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ワールド・ビューティー・マザーファンド	千口 1,560,363	千円 1,714,270	千口 2,910,484	千円 3,590,420

○株式売買比率

(2018年12月11日～2019年6月10日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	ワールド・ビューティー・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	16,543,838千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	31,372,431千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.52

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2018年12月11日～2019年6月10日)

利害関係人との取引状況

<ワールド・ビューティー・オープン（為替ヘッジなし）>

該当事項はございません。

<ワールド・ビューティー・マザーファンド>

区分	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	
		百万円	%		百万円	%
株式	7,541	861	11.4	9,001	1,880	20.9
為替直物取引	3,996	900	22.5	2,453	495	20.2

平均保有割合 78.4%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	14,875千円
うち利害関係人への支払額 (B)	1,979千円
(B) / (A)	13.3%

(注) 売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ信託銀行、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2019年6月10日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ワールド・ビューティー・マザーファンド	21,470,133	20,120,012	25,232,507

○投資信託財産の構成

(2019年6月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ワールド・ビューティー・マザーファンド	25,232,507	96.4
コール・ローン等、その他	935,298	3.6
投資信託財産総額	26,167,805	100.0

(注) ワールド・ビューティー・マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産（24,342,602千円）の投資信託財産総額（32,997,866千円）に対する比率は73.8%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=108.52円	1 ユーロ=122.83円	1 イギリスポンド=138.07円	1 スイスフラン=109.59円
1 ノルウェークローネ=12.58円	1 オーストラリアドル=75.84円	1 香港ドル=13.84円	100韓国ウォン=9.19円

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2019年6月10日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	26,167,805,426
コール・ローン等	460,698,193
ワールド・ビューティー・マザーファンド(評価額)	25,232,507,233
未収入金	474,600,000
(B) 負債	841,290,896
未払収益分配金	577,461,180
未払解約金	39,491,317
未払信託報酬	223,914,304
未払利息	901
その他未払費用	423,194
(C) 純資産総額(A-B)	25,326,514,530
元本	25,327,244,765
次期繰越損益金	△ 730,235
(D) 受益権総口数	25,327,244,765口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,000円

<注記事項>

- ①期首元本額 26,222,246,401円  
 期中追加設定元本額 6,408,062,012円  
 期中一部解約元本額 7,303,063,648円  
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0000円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は730,235円です。

③分配金の計算過程

項 目	2018年12月11日～ 2019年6月10日
費用控除後の配当等収益額	184,436,751円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	1,214,827,464円
収益調整金額	22,514,477円
分配準備積立金額	4,466円
当ファンドの分配対象収益額	1,421,783,158円
1万口当たり収益分配対象額	561円
1万口当たり分配金額	228円
収益分配金金額	577,461,180円

○損益の状況（2018年12月11日～2019年6月10日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 98,566
受取利息	110
支払利息	△ 98,676
(B) 有価証券売買損益	3,135,701,668
売買益	3,773,760,053
売買損	△ 638,058,385
(C) 信託報酬等	△ 224,338,978
(D) 当期損益金(A+B+C)	2,911,264,124
(E) 前期繰越損益金	△1,511,995,443
(F) 追加信託差損益金	△ 822,537,736
(配当等相当額)	( 14,014,594)
(売買損益相当額)	(△ 836,552,330)
(G) 計(D+E+F)	576,730,945
(H) 収益分配金	△ 577,461,180
次期繰越損益金(G+H)	△ 730,235
追加信託差損益金	△ 822,537,736
(配当等相当額)	( 22,514,477)
(売買損益相当額)	(△ 845,052,213)
分配準備積立金	821,807,501

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。  
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## ○分配金のお知らせ

1 万円当たり分配金（税込み）	228円
-----------------	------

◆分配金は決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、2019年6月10日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

\*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

### 【お 知 ら せ】

2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。）の税率が適用されます。

# ワールド・ビューティー・マザーファンド

## 《第4期》決算日2019年6月10日

[計算期間：2018年12月11日～2019年6月10日]

「ワールド・ビューティー・マザーファンド」は、6月10日に第4期の決算を行いました。  
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第4期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	主として日本を含む世界各国のビューティー・ビジネス関連企業の株式に投資を行います。なお、ビューティー・ビジネス関連企業とは、委託会社の視点において、人の美しさの向上に寄与する事業などを行い、今後の美容関連市場における成長の恩恵を享受すると考えられる企業をいいます。株式への投資にあたっては、企業収益の成長性、財務の健全性、株価水準等を考慮して、銘柄選定を行います。株式の組入比率は高位を維持することを基本とします。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	日本を含む世界各国の株式を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

### ○設定以来の運用実績

決算期	基準	価額		株組入比率	株先物比率	純資産総額
		期騰落	中率			
(設定日)	円		%	%	%	百万円
2017年7月31日	10,000	—	—	—	—	297
1期(2017年12月11日)	11,279	12.8	93.1	—	—	1,304
2期(2018年6月11日)	12,043	6.8	98.2	—	—	8,647
3期(2018年12月10日)	10,871	△ 9.7	95.8	—	—	29,697
4期(2019年6月10日)	12,541	15.4	97.7	—	—	32,279

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
		騰	落		
(期 首) 2018年12月10日	円 10,871	% —	% —	% 95.8	% —
12月末	10,529	△ 3.1		97.1	—
2019年1月末	10,666	△ 1.9		97.2	—
2月末	11,381	4.7		97.9	—
3月末	12,163	11.9		97.5	—
4月末	12,629	16.2		98.2	—
5月末	12,090	11.2		97.2	—
(期 末) 2019年6月10日	12,541	15.4		97.7	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

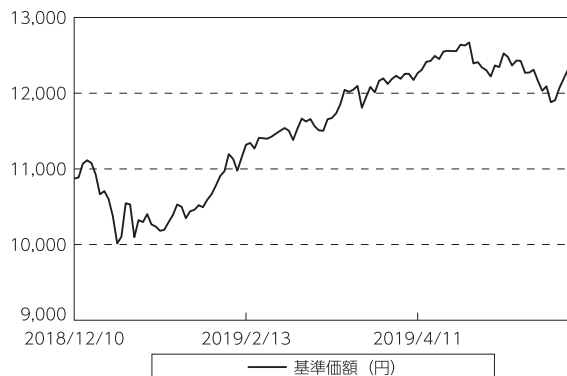
## ○運用経過

### ●当期中の基準価額等の推移について

#### ◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ15.4%の上昇となりました。

基準価額等の推移



### ●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

世界主要国の株式市況が上昇したことや組入銘柄 (ESTEE LAUDER COMPANIES-CL A、PLANET FITNESS INC - CL Aなど) の値上がりなどを背景に基準価額は上昇しました。

### ●投資環境について

#### ◎株式市況

・世界の株式市況は上昇しました。  
米中通商摩擦の激化への不安感が台頭したものの、中国における景気刺激策への期待感や、米国やユーロ圏の中央銀行が相次いで2019年内の政策金利の引き上げを見送る姿勢を示し、世界的に長期国債の利回りが低下したことなどが株価の押し上げ要因となりました。

#### ◎為替市況

・主要通貨は円に対して下落しました。  
日本との金利差縮小などを背景に、米ドルやユーロ、英ポンドなどの主要通貨は円に対して下落しました。



- 当該投資信託のポートフォリオについて
  - ・取材を通じて、日本を含む世界各国の企業の中から美容関連市場の恩恵を最大限享受すると考えられる企業を選別しました。
  - ・当ファンドでは、「高価格帯」、「アンチエイジング」、「オーガニック化粧品」、「新たな販売チャネル」の4点に着目した運用を行いました。
  - ・通貨別では、米ドルやユーロの比率が上昇し、円の比率が低下しました。
  - ・組入銘柄数については、ブランド力や株価水準、成長性を勘案して投資対象の絞り込みを行い、期首の41銘柄から減少し期末は31銘柄としました。

主な銘柄入替は以下の通りです。

「RECKITT BENCKISER GROUP PLC」や「JOHNSON & JOHNSON」などを全売却し、「CALAVO GROWERS INC」や「INTER PARFUMS INC」などを新規に組み入れました。

## ○今後の運用方針

- ・足元では、世界景気の減速から日常的には購入しない自動車や電化製品を中心に需要の減退が確認されていますが、化粧品に関しては力強い状況が続いています。また、消費者は、ブランド力や素材に加えて、しわ改善や美白など機能

性を重視しており、当ファンドが積極的に投資を行っている日本や欧米の大手化粧品企業への恩恵は大きいと判断しています。米中間の通商問題が懸念されますが、高級化粧品を中心に生産における中国依存度は低く、相対的に影響は限定的であると考えられます。

- ・日本の化粧品メーカーについては、中国における並行輸入業者に対する規制や景気減速によりインバウンド需要の低下が懸念され、2019年1月末にかけて株価が軟調となる局面がありました。しかし、その後は、訪日観光客数の増加トレンドや主要百貨店の免税消耗品（大半が化粧品）が前年を上回って推移したことから化粧品需要の継続的な拡大への安心感が広がり上昇基調となりました。2019年1－3月期の各企業決算においても一部企業を除いてインバウンド需要の底堅さが確認されており、今後の更なる業績拡大が期待されます。
- ・当ファンドのポートフォリオ構築にあたっては、ビューティー・ビジネス関連企業が主に販売を行っている「地域」や、商品の「価格」、製品ブランド等の戦略を重点的に調査の上、美容関連市場の成長の恩恵を享受できると考えられる銘柄を中心に投資を行っています。今後も、企業収益の成長性、財務の健全性、株価水準等を考慮して、美容関連市場の成長の恩恵を受けると判断した銘柄を選定します。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2018年12月11日～2019年6月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 )	円 7 (7)	% 0.059 (0.059)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 ( 株 式 )	1 (1)	0.011 (0.011)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( そ の 他 )	1 (1) (0)	0.008 (0.005) (0.003)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	9	0.078	
期中の平均基準価額は、11,559円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2018年12月11日～2019年6月10日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国内	上場	千株 610 ( 47)	千円 1,628,994 ( -)	千株 1,535	千円 4,812,638
	アメリカ	百株 3,394	千アメリカドル 33,432	百株 3,606	千アメリカドル 25,456
外 国	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	79	522	-	-
	フランス	217	1,924	-	-
	オランダ	1,878	9,164	-	-
国	イギリス	849 (△ 43)	千イギリスポンド 3,758 ( -)	596	千イギリスポンド 3,482
	スイス	7	千スイスフラン 1,936	1,282	千スイスフラン 5,751
	ノルウェー	-	千ノルウェークローネ -	2,261	千ノルウェークローネ 18,864

(注) 金額は受渡代金。

(注) ( )内は株式分割・増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2018年12月11日～2019年6月10日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	16,543,838千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	31,372,431千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.52

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2018年12月11日～2019年6月10日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$ %	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$ %
株式	7,541	861	11.4	9,001	1,880	20.9
為替直物取引	3,996	900	22.5	2,453	495	20.2

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	18,970千円
うち利害関係人への支払額 (B)	2,524千円
(B) / (A)	13.3%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ信託銀行、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2019年6月10日現在)

国内株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末	
	株 数	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千株	千円
<b>食料品 (－%)</b>				
ヤクルト本社	46.6	—	—	—
<b>化学 (100.0%)</b>				
竹本容器	32.4	142.4	165,041	165,041
花王	98.7	117.6	1,016,181	1,016,181
資生堂	335.9	321.2	2,684,589	2,684,589
ライオン	208.5	—	—	—
マンダム	192.4	29.1	77,726	77,726
ミルボン	120.8	137.6	751,296	751,296
ファンケル	585.4	473.5	1,411,503	1,411,503
コーセー	68.4	81	1,450,710	1,450,710
ポーラ・オルビスホールディングス	314	21.6	67,716	67,716
ノエビアホールディングス	47.7	31.7	193,370	193,370
小林製薬	57	—	—	—
<b>医薬品 (－%)</b>				
ロート製薬	125	—	—	—
合 計	株 数 ・ 金 額	2,232	1,355	7,818,134
	銘柄 数 < 比 率 >	13	9	< 24.2% >

(注) 銘柄欄の( )内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

外国株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等	
	株 数	株 数	評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカドル	千円		
COLGATE-PALMOLIVE CO	808	938	6,945	753,687	家庭用品・パーソナル用品	
ESTEE LAUDER COMPANIES-CL A	1,358	1,411	24,969	2,709,684	家庭用品・パーソナル用品	
INTL FLAVORS & FRAGRANCES	339	379	5,743	623,334	素材	
JOHNSON & JOHNSON	452	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
PROCTER & GAMBLE CO/THE	949	2,114	22,994	2,495,330	家庭用品・パーソナル用品	
CLOROX COMPANY	229	307	4,814	522,519	家庭用品・パーソナル用品	
ALIGN TECHNOLOGY INC	422	461	14,206	1,541,723	ヘルスケア機器・サービス	
NUTRISYSTEM INC	770	—	—	—	小売	
ULTA BEAUTY INC	341	398	13,477	1,462,563	小売	
CHURCH & DWIGHT CO INC	229	—	—	—	家庭用品・パーソナル用品	
INTER PARFUMS INC	—	215	1,427	154,899	家庭用品・パーソナル用品	
MINDBODY INC - CLASS A	1,400	—	—	—	ソフトウェア・サービス	
APTARGROUP INC	943	1,228	14,971	1,624,737	素材	
PLANET FITNESS INC - CL A	1,442	1,848	14,414	1,564,218	消費者サービス	
CALAVO GROWERS INC	—	172	1,587	172,321	食品・飲料・タバコ	
小 計	株 数 ・ 金 額	9,688	9,476	125,553	13,625,019	
	銘柄 数 < 比 率 >	13	11	—	< 42.2% >	
(ユーロ…ドイツ)			千ユーロ			
BEIERSDORF AG	961	961	10,144	1,245,997	家庭用品・パーソナル用品	
SYMRISE AG	589	668	5,871	721,223	素材	
小 計	株 数 ・ 金 額	1,550	1,629	16,015	1,967,220	
	銘柄 数 < 比 率 >	2	2	—	< 6.1% >	
(ユーロ…フランス)						
LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI	223	223	7,980	980,279	耐久消費財・アパレル	
L'OREAL	373	440	10,806	1,327,327	家庭用品・パーソナル用品	
INTERPARFUMS SA	695	845	3,651	448,521	家庭用品・パーソナル用品	
小 計	株 数 ・ 金 額	1,292	1,509	22,438	2,756,128	
	銘柄 数 < 比 率 >	3	3	—	< 8.5% >	
(ユーロ…オランダ)						
UNILEVER NV-CVA	—	1,878	10,169	1,249,165	家庭用品・パーソナル用品	
小 計	株 数 ・ 金 額	—	1,878	10,169	1,249,165	
	銘柄 数 < 比 率 >	—	1	—	< 3.9% >	
ユ ー ロ 計	株 数 ・ 金 額	2,843	5,018	48,624	5,972,514	
	銘柄 数 < 比 率 >	5	6	—	< 18.5% >	
(イギリス)			千イギリスポンド			
UNILEVER PLC	1,290	1,872	9,200	1,270,324	家庭用品・パーソナル用品	
RECKITT BENCKISER GROUP PLC	596	—	—	—	家庭用品・パーソナル用品	
CRODA INTERNATIONAL PLC	1,544	1,768	9,195	1,269,633	素材	
小 計	株 数 ・ 金 額	3,431	3,640	18,396	2,539,957	
	銘柄 数 < 比 率 >	3	2	—	< 7.9% >	
(スイス)			千スイスフラン			
GIVAUDAN-REG	40	48	13,222	1,448,999	素材	
NOVARTIS AG-REG	276	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
CLARIANT AG-REG	663	—	—	—	素材	
DKSH HOLDING AG	342	—	—	—	商業・専門サービス	
小 計	株 数 ・ 金 額	1,323	48	13,222	1,448,999	
	銘柄 数 < 比 率 >	4	1	—	< 4.5% >	

銘柄	株数	当 期 末		業 種 等
		株 数	評 価 額	
(ノルウェー)	百株	百株	千ノルウェークローネ	千円
BORREGAARD ASA	2,261	—	—	—
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	2,261 1	— —	— < - % >
(香港)			千香港ドル	
L' OCCITANE INTERNATIONAL SA	4,302	4,302	5,834	80,745
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	4,302 1	4,302 1	5,834 — < 0.3 % >
(韓国)			千韓国ウォン	
LG HOUSEHOLD & HEALTH CARE	4	4	631,960	58,077
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	4 1	4 1	631,960 — < 0.2 % >
合 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	23,856 28	22,490 22	— — < 73.5 % >

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

## ○投資信託財産の構成

(2019年6月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 31,543,447	% 95.6
コール・ローン等、その他	1,454,419	4.4
投資信託財産総額	32,997,866	100.0

(注) 期末における外貨建純資産 (24,342,602千円) の投資信託財産総額 (32,997,866千円) に対する比率は73.8%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=108.52円	1 ユーロ=122.83円	1 イギリスポンド=138.07円	1 スイスフラン=109.59円
1 ノルウェークローネ=12.58円	1 オーストラリアドル=75.84円	1 香港ドル=13.84円	100韓国ウォン=9.19円

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年6月10日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	33,507,806,455	
コール・ローン等	949,330,504	
株式(評価額)	31,543,447,969	
未収入金	984,522,354	
未収配当金	30,505,628	
(B) 負債	1,227,846,631	
未払金	536,735,088	
未払解約金	691,110,000	
未払利息	1,543	
(C) 純資産総額(A-B)	32,279,959,824	
元本	25,740,346,245	
次期繰越損益金	6,539,613,579	
(D) 受益権総口数	25,740,346,245口	
1万口当たり基準価額(C/D)	12,541円	

<注記事項>

- ①期首元本額 27,317,989,213円  
 期中追加設定元本額 2,224,306,501円  
 期中一部解約元本額 3,801,949,469円  
 また、1口当たり純資産額は、期末1.2541円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

ワールド・ビューティー・オープン(為替ヘッジなし)	20,120,012,147円
ワールド・ビューティー・オープン(為替ヘッジあり)	5,620,334,098円
合計	25,740,346,245円

○損益の状況 (2018年12月11日～2019年6月10日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	264,430,465	
受取配当金	264,532,420	
受取利息	273,375	
その他収益金	940	
支払利息	△ 376,270	
(B) 有価証券売買損益	4,534,154,703	
売買益	5,644,977,677	
売買損	△1,110,822,974	
(C) 保管費用等	△ 2,658,620	
(D) 当期損益金(A+B+C)	4,795,926,548	
(E) 前期繰越損益金	2,379,714,063	
(F) 追加信託差損益金	237,113,499	
(G) 解約差損益金	△ 873,140,531	
(H) 計(D+E+F+G)	6,539,613,579	
次期繰越損益金(H)	6,539,613,579	

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。